

## 一宮市立市民病院新病棟（南館 C）工事の概要

### 1 建物の概要

- ・構造 コンクリート充填鋼管構造（CFT 造）地下1階、地上6階建
- ・建築面積 1,855.95 m<sup>2</sup>
- ・床面積 8,900.93 m<sup>2</sup>

### 2 各階の概要

- 地下1階 薬剤部門、機械室
- 1階 エントランス、感染対応診察室、駐車場
- 2階 血液内科外来、がん相談支援センター、外来化学療法室（25床・現状より5床増）、緩和ケア診察室、相談室
- 3階 院内ICU病棟（8床・全室個室）、手術支援ロボットダヴィンチ手術室1室、ハイブリット手術室1室、心臓カテーテル室2室
- 4階 結核病棟（18床・個室6室、4人床3室）  
感染症病室（6床・全室個室）
- 5階 緩和ケア病棟（14床・全室個室・特室A1室、B4室、無料個室9室）
- 6階 屋上庭園、機械室
- ※既存建物との接続箇所 2階 1箇所、 3階 2箇所

- 3 建設費 予算額 58億1,124万2,400円  
落札額 52億290万円（税込）

- 4 契約期間 平成28年12月8日～平成30年10月31日

### 5 新病棟の特徴

#### ○がん診療の充実

- ・尾張西部医療圏では初めてとなる緩和ケア病棟(14床)を5階に新設。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センター、外来化学療法室、緩和ケア外来などを2階に配置し、がん患者の利便性を向上させる。

#### ○循環器医療の充実

- ・ハイブリット手術室と心臓カテーテル室2室を整備する。

#### ○高度医療機器の導入

- ・手術支援ロボットダヴィンチを設置し、内視鏡下の手術で安全性を確保しながら患者さんの負担を軽減する。

#### ○院内ICUの整備

- ・病室を個室化することで患者の療養環境を高め、集中治療医療の充実を図る。

#### ○結核・感染症病棟の機能充実

- ・県立循環器呼吸器病センターとの統合により、当院で受け入れた結核・感染症病棟を4階に移設し、ディルーム・病室・処置室の面積を増加させることで、患者の療養環境や医療機能の充実を図る。